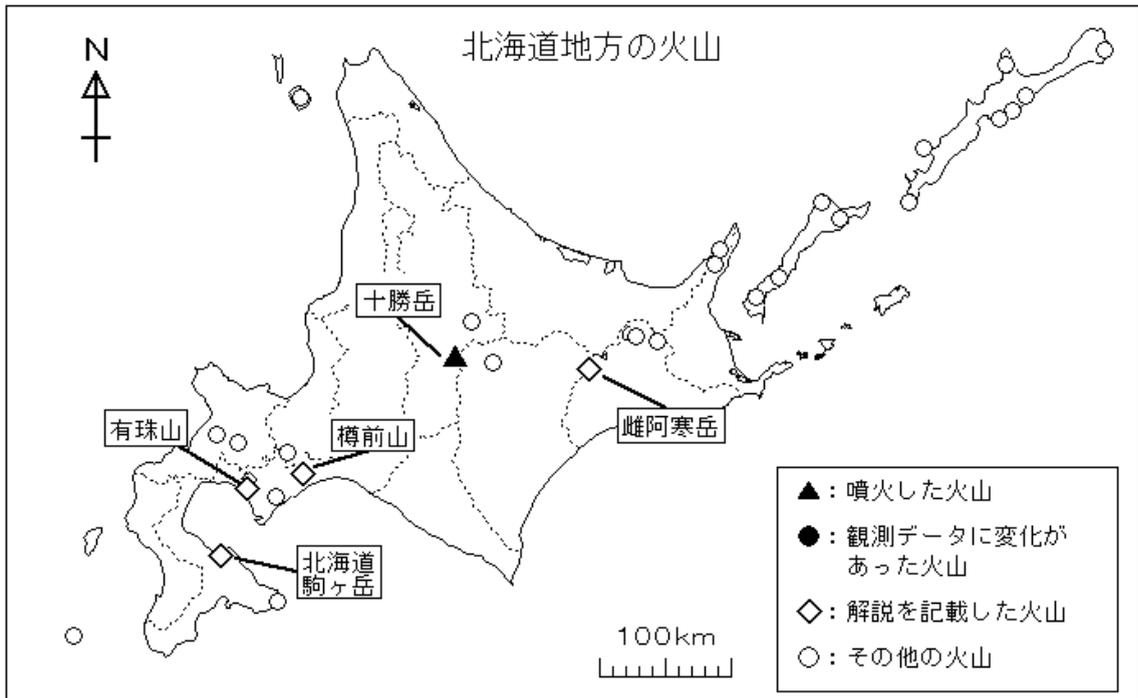


北海道地方の火山活動解説資料(平成 16 年 2 月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳

火山活動はやや活発な状態が続いています。

地震活動は静穏に経過しました。ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動はやや弱い状態が続いていますが、火口温度はこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。

十勝岳

火山活動はやや活発な状態が続いています。

2月25日21時過ぎに振幅のきわめて小さな火山性微動が発生し、その直後から有色噴煙が観測されました。微動は26日朝に収まりその後は発生していません。今回の微動は62-2火口直下の浅いところで発生したごく小規模なもので、今後も同様の現象が繰り返される可能性があります。

火山活動は特に活発化する様子はなく、これまでと同様の状況が継続しています。

樽前山

火山活動はやや活発な状態が続いています。

地震活動および噴煙活動は比較的落ち着いた状態で経過しましたが、A火口などの温度はこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。

有珠山

火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

火山活動は静穏な状態が続きました。

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が継続しています。昭和4年火口などではこれまでと同様弱い噴気活動が続いています。地震活動には特段の変化はなく静穏に経過しました。

次の火山活動解説資料(平成16年3月分)は4月7日に公表します。

(札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)

(気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)